

# 令和5年度学校自己評価システムシート (県立羽生第一高等学校)

目指す学校像	地域の期待に応えるため「自主・自律 求めて強き風に立つ」の精神のもと、積極的に課題解決に挑戦する生徒を育成する。
--------	--

重点目標	1 基礎学力に裏打ちされた学力向上の結果、高いレベルの進路実現を図る。 2 保護者と連携して、地域の模範となるような規範意識を醸成する。 3 活気に満ちた生徒の姿と特色ある教育活動を発信し、開かれた学校づくりを推進する。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価 ( 2 月 1 日 現 在 )		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	(現状) 生徒の進路先は、大学から専門学校、就職と多岐にわたる。本校の特色である朝読書や新聞活用等の取組みは校内で定着しており、生徒の達成状況も安定した成果をあげつつある。令和5年度入学生から導入されたタブレット端末では、授業を始めとする教育活動等で、効果的な活用が求められている。  (課題) 生徒の家庭学習の定着が課題である。高い目標の設定と進路実現に向けた、主体的な姿勢の育成が必要である。また、タブレット端末の効果的な活用方法の検証と観点別評価の改善に向けた共通理解を深め、「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善につなげていく。	<b>①早期の目標設定の実現と、進路実現を見据えた学習時間の確保</b>  <b>②積極的な授業改善に向けた取組の実施。</b>	①総合的な探究(総探)指導の一環として、新聞活用指導(NIE)を実施し、社会への興味関心につなげる。 ①生徒の主体的な家庭学習時間を確保 ②教員の学び合いや研修会を実施し、授業力及び指導力向上につなげる。(タブレット研修会等) ②新学習指導要領を意識し、観点別評価の研究を行う。	①総探やNIEを通して、生徒の視野の拡大につながった生徒が7割以上あったか。 ①家庭学習の時間平均が、昨年度データより1時間以上増加したか。 ②校内ICT環境の十分な活用を進め、教職員のスキルアップにつなげることができたか。 ②観点別評価の共通理解と評価による指導の改善につなげることができたか。 (②教員アンケートにより肯定的な自己評価が割合7割以上回答があったか。)		
		<b>組織的な進路指導の取組による、高い志の育成と保護者理解の推進</b>	○模試分析をもとに指導方法の工夫・改善を行うとともに、個々に応じた進路指導を行う。 ○進路行事のさらなる充実と適時適切な情報提供を行う。 ○進路指導における指導の共通理解と取組を実施する。 ○保護者の進路指導意識の向上	○進路指導への満足度、ニーズに応えた情報提供であったか(生徒・保護者アンケート回答した割合7割以上があったか)。 ○生徒の実態に適した進路行事の充実と個に応じた進路選択を支援できたか(教員アンケートにより肯定的な意見7割以上があったか。)		
2	(現状) 礼儀正しく、真面目で落ち着いた生徒が多い。一方で、主体的な課題解決に向けた行動力が弱い。  (課題) 課題解決に向けた主体的な行動と持続する力の育成が必要である。進路実現と生徒指導の一体化にむけ、保護者とも連携していく。	<b>「一高基準の規範意識」を身近なものとして置き、日頃から一高生としての自覚と誇りを育てる。</b>	○全教職員で定期的な整容指導と積極的な挨拶指導にあたり、生徒の規範意識を向上させる。 ○「一高手帳」の活用に向けた指導により、生徒の時間管理・自己管理能力を高める。 ○ボランティア活動等、主体的に参加する事業を推進する。	○一高基準を遵守し、積極的な挨拶行動ができた生徒7割以上あったか。 ○キャリアパスポートを意識した「一高手帳」の活用指導を理解し、有効に活用することができた生徒7割以上があったか。 ○校内外において主体的に行動した生徒が4割以上あったか。		
			○HP更新(行事・部活動・特色ある授業等)を積極的に更新する。 ○「一高だより」の発行および配布し、教育活動の一層の理解を求める。 ○地域連携や異校種交流を計画的に進め、学校理解につなげる。	○生徒から見た学校の実態調査(生徒アンケート)を実施し、生徒募集に活用していく。 ○HP更新(教育活動、部活動等)定期的に行われたか。 ○「学校だより」を月1回程度発行できたか。 ○学校説明会でのアンケートの実施と、ニーズに合った情報提供ができたか。		
3	(現状) HP、学校だより等の発行など広報活動に力をいれているが、ここ数年生徒募集に苦戦している。  (課題) 魅力ある教育活動・部活動等について更に情報発信し、効果的な生徒募集につなげていく必要がある。	<b>保護者・地域連携を強化し、魅力ある教育活動の情報発信を確実に実施する。</b>	○HP更新(行事・部活動・特色ある授業等)を積極的に更新する。 ○「一高だより」の発行および配布し、教育活動の一層の理解を求める。 ○地域連携や異校種交流を計画的に進め、学校理解につなげる。	○生徒から見た学校の実態調査(生徒アンケート)を実施し、生徒募集に活用していく。 ○HP更新(教育活動、部活動等)定期的に行われたか。 ○「学校だより」を月1回程度発行できたか。 ○学校説明会でのアンケートの実施と、ニーズに合った情報提供ができたか。		

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	